

んだすな

- 運営のヒント「NPOについて」／会計ミニ知識「役員報酬」
- 新NPO法人紹介「NPO法人 アートNPOゼロダテ」
「NPO法人 北秋田ハッピーデリバリー」
- 元気のミナモト「デートDVをテーマに『高校生サミット』」
- CB・CSRいろは塾「大館市『エコ・アクション・ポイント』」
- 助成金活用術「NPO法人 冒険の鍵クーン」
- 情報あらかると ○上小阿仁村で芸術祭に向けたクリーンアップ



写真で伝える「活動の魅力」

民・官・学の協働でまちづくり

のしろ白神ネットワークは、平成18年から市民団体・学術機関・行政機関が協働で地域づくりに取り組み、里山や里地を結ぶ沿線の景観整備を通して、コミュニティ(人間力)の再構築と魅力的なまちづくりを行っています。

日頃から団体相互の情報交換や交流を図り、地域に根ざした活動として、木のまちづくりや木のある暮らしの体感などに取り組んでいます。5回目を迎える「のしろまち灯り・夏」は、廃食油から作ったロウソクと間伐廃材を使ってまちの通りを灯しています。ロウソクは、毎年子どもたちと一緒に作っています。今年は8月4日開催。べらぼう風やスギ塀を、BDF 燃料を使用してライトアップ、ウッドチップ舗装の道を LED ライトの足元灯で照らすなどして演出します。地域の賑わい創出に向けて、企業や商店街との連携の輪が年々広がっています。のしろ白神ネットワーク(代表/能登裕子)

<http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/douro/nsnw/>





NPOについて

NPOとは

NPOは、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し収益を分配することを目的としない団体の総称です。社会貢献活動とは、高齢者の生きがいづくり支援、障害者の社会参加促進、通学の子供の見守り活動、子育て支援、里山の保全活動、国外の難民支援などの社会の課題に取組み、解決し、社会をより良くしようとする活動です。昨年、甚大な被害をもたらした東日本大震災においても、がれき撤去や汚れた写真の復元、炊き出し、救援物資の仕分け、医療系支援、避難者支援、子どもたちの学習支援など、沢山のNPOが様々な活動を行い、復興にむけて活躍しています。

NPOは、自発的に、自ら何を行うべきかを考え、自らの意思で行動を起こそうという人たちが集まって組織されています。企業との違いは、企業は「営利」を目的とし、利益を追求する組織であるのに対し、NPOは「非営利」で社会的な使命を達成することを目的とした組織です。

営利と非営利

NPOが行う非営利活動は、無償の活動という意味ではありません。収益事業を行ってはいけなく、利益を上げてはいけなくという事でもありません。営利組織である企業のように利益を株主などに分配をしないという事です。社会的使命を達成するための様々なサービスを通じて、また、活動の趣旨

に賛同した支援者からの会費、寄付金などで上がった利益を組織の構成員に分配せず、改めて社会貢献活動へ使います。利益を分配しない代わりに、活動によって達成した成果を支援者に報告します。安定した運営基盤を築き、NPOの活動をより発展させるために、有給スタッフを雇用する事もあります。労働の対価として支払われる給与、賃金等は「利益の分配」にはあらず、活動の必要経費とされています。

NPO法人

NPO法人とは、NPO法(特定非営利活動促進法)に基づき設立される法人をいいます。NPO法は、ボランティア活動や社会貢献活動を行う団体など法人格を持たない任意団体が、法人格を持つ事によって団体の活動をより活性化させたり安定させたりして社会的な貢献度を高める事を目的に制定されました。法人格を取得する事によって、法人名義で銀行口座の開設や不動産契約をすることができます。また、主体が明確になることや行政、財団法人等の各種助成金、補助金等の対象となる可能性も増え、事業展開の幅が広がります。一方で、事業報告書提出や税務申告、情報公開、NPO法に基づく組織運営などの義務が生じます。NPO法人格を取得するかどうかは、団体の目的達成の一つの手段として、十分に話し合い検討する必要があります。



「役員報酬」

NPO法人の役員は理事、監事の事を指します。役員の役割は、業務上の意思決定、総会の招集、事業の推進・評価、財源の確保、人事・労務の管理、対外関係の対応などがあり、法人の運営・経営を担います。

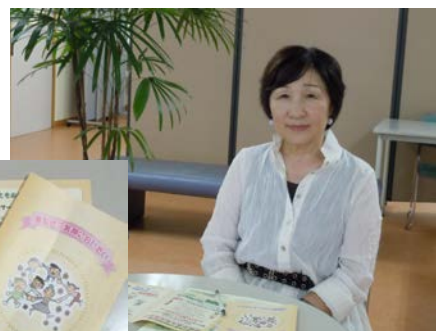
これらの「役員(理事、監事)」という地位や職務に対する対価として支払われる報酬を「役員報酬」といいます。理事は職員を兼ねることができます。この場合に、職員としての職務に支払われる給与は、その職員が役員であったとしても、役員報酬ではありません。「職員としても勤務する」のであれば、給与は、その労務の対価として支払われるものであり、役員報酬とは異なります。NPO法に定められている「役員のうち報酬を受ける者の数が、役員総数の3分の1以下であること」には含まれません。ただし、監事は職員を兼ねることができません。

新NPO法人紹介

NPO 法人 北秋田ハッピーデリバリー

北秋田ハッピーデリバリーは、秋田県北地域に住む高齢者の方々がいきいきと生活するためのお手伝いをしようと、買い物代行・買い物同行、日常生活サポート事業・外出支援サービス等を展開して、安否確認、孤立化の解消を図り、地域の活性化・地域福祉に貢献するために設立しました。活動するにあたり、事業の8割を占める外出支援サービスを実施するうえで法人化が必須だったことから、NPO法人化しました。

理事長の佐藤信子さんは、「北秋田地域は、これまでにない高齢化社会となっています。生活に必要な商業施設や公共機関が郊外に集中化されております。地域の高齢者等のみなさんは、移動手段が不足していることに加え、公共交通機関以外を利用した場合には、高額の利用料が必要になり、日常生活に支障をきたしています。私も法人は、会員制による助け合いの輪を構築して、高齢者等のみなさんの住み良



い地域づくりを支援するため、買い物代行・日常生活サポート・外出支援サービス等のお手伝いをさせていただいております。今後は、登録利用会員とともに当事業を支援していただく活動会員等を増加させ、助け合いの輪をさらに大きくし、地域の活性化に寄与したいと考えています。」とお話いただきました。

NPO 法人 北秋田ハッピーデリバリー

(理事長／佐藤信子 設立年月／平成24年2月23日)

【連絡先】 TEL.0186-72-3816

新NPO法人紹介

NPO 法人 アート NPO ゼロダテ

ゼロダテは、アートの視点でふるさとを元気づけようと、大館市出身のアーティストと地元の人たちが中心となって平成18年に「ゼロダテ・大館展」を開催。商店街でのアート作品展、廃校となった小学校の活用、ライブ、市民参加型の作品づくりなど多彩に取り組んでいます。また、市民参加型の地域資源調査リサーチといった地域の魅力を伝える事業にも携わるようになりました。大館市(ゼロダテアートセンター)、東京都千代田区(平成22年開設・ゼロダテアートセンター東京)、今年6月開設の北秋田市(ゼロダテアートセンター／タカノス(仮称))に拠点を置いて活動しています。

6年目を迎え、公益性の高い通年の事業が増えるとともに、雇用が生まれ、運営規模が大きくなってきたことから、NPO 法人化しました。法人化により、意思決定を明確にし、継続的・計画的に事業の管理・遂行を図りたいと考えています。利点としては、法人格の必要な助成事業にも応募可能となりました。

現在は、観光・地域資源の活用にクリエイティブな視点を入れた見せ方、プロモーションに力を入れていきます。ニーズを把握し、どんなことを求めているのかを

意識しています。例えば、「大館」とポスターに入れるとき、「おおだて」とフリガナをふって、県外の人にむけた思いを伝えています。各拠点を若い人が集まる場に、地域の人に見慣れた光景と、地域外の人々の価値のある光景をつなげていきたいと考えています。法人としては、新たな事業を展開し、自立をめざしています。(事務局長／石山 拓真)

NPO 法人 アート NPO ゼロダテ

(理事長／中村政人 設立年月／平成24年5月24日)

【連絡先】ゼロダテアートセンター(ZAC)

TEL.050-3332-3819 <http://www.zero-date.org/>



デートDVをテーマに「高校生サミット」

～ピアカウンセラーの大学生と高校生が考える～



6月30日、能代市で開催された「ハーモニーフェスタ2012」(秋田県、秋田県人権啓発活動ネットワーク主催)のなかで、デートDV※をテーマにした高校生サミット「Thinking together～私たちとデートDV～」が行われました。

サミットは、看護福祉大学の岩間薫教授による「DVって何？」と題した講演後、同大学のピアカウンセラーの学生3人(B愛STAR(ビーラブスター)ピアサークル)と能代市・北秋田市・大館市の高校生7人が、デートDVの現状や対応・対策について、事例をもとに考えました。

事例で紹介されたことは、デートDVが友達関係や趣味の制限などによる束縛、無視や暴言、暴力といった行為であり、そうした行為を受けても、好きな気持ちと優しくされることで相手を許してしまい、行為が繰り返され、エスカレートしていくことでした。二人の気持ちや繰り返される理由について、高校生からは「自分との時間を優先して欲しい」「ほかの人と楽しんでいると、自分というより楽しんでいるのではないか」「嫉妬した気持ちを言葉にした」「感情のコントロールができなくなっている」「好きだから嫌われたくない」「我慢すればいいんだ」などの意見が出ました。相談された時には“かけてほしい言葉”と“かけてはいけない言葉”や、二人で話し合う時には、どうしたらよいのかなど、対応・対策について話し合いました。

サミット終了後の高校生の感想は、デートDVについて「些細なことと思っていたことでもデートDVにあたるのがわかった。」「身近でも起こりうるのがわかった。」、対応について「自分になったときの対処がわかった。」「自分の気持ちを素直に相手に伝えるようにする。」「友達に相談されたら、自分の気持ちを伝えようとよいとアドバイスする。」「関心を持つことが大切。」「など、無関心だったDVについて理解を深めていました。

今回注目したのは、大人たちに見つめられて緊張する高校生から、意見を上手に引き出していた学生です。ピアカウンセラーは、仲間意識を持ったうえで、解決策を与えるのではなく、相談者自らが持っている“解決する力”を引き出すように援助している人のことです。ピアカウンセラー養成セミナーを受講した学生が、思春期の性＝生に関するボランティア活動を実践していて、ピアカウンセリング※を県内の中学・高校で実施しています。サミットは、学生にとってもこれまでの活動とは違う初の試みだったことから、高校生の緊張感を少しでも和らげようと事前に顔合わせをしていました。短時間の顔合わせだったものの、当日の雰囲気づくりに活かされていました。

学生のみなさんは、ピアカウンセラーの活動の魅力について「中高生など年齢を問わずに関われる」「気持ちを引き出す力やコミュニケーション能力がつく」、そしてなによりも「ピアカウンセリング後の中高生の表情が違っている」と話し、手ごたえを感じていました。

※DVとは、ドメスティックバイオレンス「domestic violence」の略。親密な関係にあるパートナー(配偶者や恋人など)に対してふるわれる体や心への暴力のこと。身体的暴力のほか、心理的・性的・経済的暴力、社会的隔離があります。(講演資料参照)

※ピアカウンセリングとは、同世代の人同士で価値観を共感・共有し、同じような悩みや不安などを分かち合うことによって、問題解決のヒントを見つけていく効果的なカウンセリング方法の1つです。(講演資料参照)



B愛STARピアサークルのみなさん。高校生と事前に顔合わせを行いました

CB・CSRいろは塾

大館市「エコ・アクション・ポイント」

大館市エコ・アクション・ポイントクラブは、環境省が推進しJCB が全国で展開しているエコ・アクション・ポイントを活用し、地球温暖化防止・環境配慮の取り組みを応援する大館市内限定の環境ポイントとして平成24年6月1日よりスタートしました。

地域と一緒に地産地消に取り組む店舗やエコを推進する企業など8つの店舗が対象です。

対象となる店舗での商品の購入・サービスを利用するとポイントが貰え、貯めたポイントで割引券や全国版エコ・アクション・ポイントと交換できる、地球にも自分にも優しいポイントプログラムです。

対象店舗は、環境に配慮した商品の生産・販売・サービスを行っており、これらの商品等を意識して購入することで環境配慮の一役を担うことができます。(下記の表を参照)

○スタンプ押印期間・ポイント交換は平成25年3月31日まで
エコ・アクション・ポイントについてのお問い合わせは
大館市産業部 地域振興課

TEL0186-43-7133

(社)あきた地球環境会議

TEL018-874-8548



県北地区CB・CSR
担当/浅利博樹



早速、実際に体験してみました。

伺った先は、地産地消商品を取り扱う「とれたて旬彩館」。



JA あきた北
JA グリーン部副部長
長崎さん

今話題のバター餅と
生搾りりんごジュースを購入。

計540円のお買い物です。

旬菜館では500円毎に

スタンプ1個となっています。

なお、旬菜館では店舗割り当て

分のポイントカードは、すべて

配布済みとなっていました。

市民の方々の参加意識の高さが伺えますね。

大館市では、全体の配布枚数は

6000枚とのことです。



バター餅と
りんごジュースを
購入。



スタンプが
もらえました!

スタンプが一杯になったら、
再度ご報告致しますので楽しみに!

大館市エコ・アクション・ポイントクラブ 取扱店

種類	取扱店	ポイント対象	単位当たりスタンプ数(ポイント数)
廃食用油回収	工房 JOY さあくる	廃食用油の回収	1%以上一回当たり1スタンプ(10ポイント)
BDF 燃料		BDF 燃料の購入	500円ごとに1スタンプ
リサイクル粉石けん		リサイクル粉石けんの購入	500円ごとに1スタンプ
ペレット燃料	北秋容器㈱	ペレット燃料の購入	500円ごとに1スタンプ
地産地消食品	陽気な母さんの店	地産地消商品の購入	500円ごとに1スタンプ
地産地消食品	とれたて旬彩館	地産地消商品の購入	500円ごとに1スタンプ
地産地消食品	とっと館	地産地消商品の購入	500円ごとに1スタンプ
地産地消食品	たけのご館	地産地消商品の購入	500円ごとに1スタンプ
地産地消食品	ゆきさわ産直センター	地産地消商品の購入	500円ごとに1スタンプ
木ハガキプロジェクト	CEEA	クイズ及び木ハガキ作成参加者	一人あたり10スタンプ(100ポイント)
うちエコ診断		うちエコ診断を受けた方	一人あたり10スタンプ(100ポイント)

助成金活用術

資金調達は多くの団体の課題となっています。事業内容によっては、助成金を利用して活動することもひとつの手段。助成金獲得の秘訣を事例から考えます。

平成24年度子どもゆめ基金助成金(体験活動)に採択された「NPO法人冒険の鍵クーン」理事長の村田君子さんにお聞きしました。



「森吉山ふるさとサマーキャンプ」では、ブナの森で遊ぼう(写真上)テントに泊まって寝袋で寝よう(中) 渓谷で川遊び(下)など自然を満喫できます。☆7ページイベント情報に掲載。また、家族“野外化”計画プログラムもあります。○お母さんを山ガールにする(9/1、9/2)○アウトドアファミリーネイチャーキャンプ 10/6~7 ○雪中どうぶつキャンプ(2013/2/2~3)

設立目的と主な活動は？

「NPO法人冒険の鍵クーン」は平成16年6月に設立。自然と人との新たな関係づくりを地域とともに模索しながら、この地を訪れる方々に対し、環境に配慮した自然体験活動を提案、提供し、あわせて次世代を担う子ども達が、自然と触れあい、自然に親しみ、自ら考えられるような機会を作っていくことを目的に活動しています。主な活動は、環境教育事業、森吉山案内のほか、秋田県立奥森吉野外活動基地の指定管理者として運営管理にあたっています。



採択された活動とは？

「森吉山ふるさとサマーキャンプ2012」「森吉山ふるさとウインターキャンプ2013」で、小学1~6年生を対象にした山・川・湖といった豊富な自然を満喫できる体験で、日帰りから3泊までの出入り自由なプログラムです。

体験を通して伝えたいことは？

8回目となるサマーキャンプは、当法人設立の原点となる「使って・知って・守る」の基本活動です。



現在、子ども達をはじめとして自然の中に入ることが少なくなっていると感じます、知らない事に興味は湧きません。人間は自然の一部。キャンプなど自然体験や自然遊びを通して自然の大切さを感じてほしいです。今年は、念願の真冬のキャンプも行うことになりました。

これまでに国や県の補助金などを活用していますが、申請にあたり気をつけたり、心がけたりしていることは？

- 普通に、チョトだけストーリー性を持たせたプログラムを作る。例えば植樹をする際、種からまいて育てるとか。
- 申請者の思いだけでなく、対象者がやりたいと思っている事を先取りし取り上げる。例えば、カヌーで“探検”や“普段遊べない所”での川遊びなど。
- 社会の動き、行政の動きを盛り込む。
- 予算書は事細かに書く。
- 地域の自治体が活動を支援していることを書く。

取材を終えて

キャンプなどの活動では、あらゆる緊急事態を想定した対策が必要です。自然と触れあうなかでは、危ないことも起こります。冒険の鍵クーンでは、子供たちに危険だからとやらせないのではなく、対策をしっかりと考えたうえで、子供たち自身が体験によって解決策を考え、身につける工夫をしています。また、木は植えて終わりではありません。植樹の際にも、親子で植え、大きくなった木を子どもが見に来てくれるような、地域の人が快く手入れしてくれるような関わりを考えながら取り組んでいます。ぶれない思いが、助成金獲得の秘訣なのでしょう。

情報あらかると

・イベント情報・

おしゃべりひろばひだまり

子育てに関わっているすべての方が対象。

①バレーンアートを楽しもう!

【日時】平成24年7月26日(木)

【会場】比内公民館

【日時】平成24年8月28日(火)

【会場】田代いきいきふれあいセンターサンピア

②夏遊びとお抹茶で一息

【日時】平成24年8月9日(木)

【会場】真中公民館

※水遊びをしますので水遊びの用意。

①②ともに

【時間】10:00～イベント開始、

11:00～ティータイム

【費用】無料※申込不要

【問い合わせ】家庭教育支援チーム(大館市教育委員会生涯学習課)

TEL0186-43-7113

北部ハーモニープラザまつり

【日時】平成24年7月28日(土)9:30～14:30

【会場】北部男女共同参画センター(大館市字馬喰町)

【内容】女性のための護身術、手づくり体験教室、呈茶、大正琴と歌声のコラボ、読み聞かせ、大型紙芝居ほか

【参加費】無料(※託児無料。要予約)

【問い合わせ】秋田県北部男女共同参画センター(主催) TEL0186-49-8552

SAVE JAPAN プログラム

クマゲラの棲む森を“知ろう”作ろう”

【日時】平成24年7月28日(土)集合場所9:30

【集合場所】森吉山野生鳥獣センター

※秋田市(遊学舎)無料送迎バスあり

【内容】ブナの原生林散策、溪谷等について学ぶ、ブナの植樹(指導・案内はNPO法人冒険の鍵クーンが行います)

【対象者】小学生の親子

【参加費】無料 【定員】50組

【申込締切】平成24年7月18日(水)

【参加申込・問い合わせ】

NPO法人あきたパートナーシップ(担当/代田) TEL018-829-5801

第8回森吉山ふるさとサマーキャンプ2012

【日時】8月1日(水)～4日(土)日帰りでも宿泊でも可能

【会場】秋田県立奥森吉野外活動基地(北秋

田市)他

【内容】○8月1日:ブナの森で遊ぶ、テント立て、野外炊飯/お泊まりプログラムは焚き火、テント・寝袋体験○8月2日:滝の散策、川遊び/お泊まりプログラムはナイトハイク○8月3日:太平湖の探検、カヌー体験、天然のウォータースライダー/お泊まりプログラムは○8月4日:夕か、小動物と触れあう、野菜の収穫

【対象】小学1～6年生

【定員】各日25名(先着順、7/24または定員になり次第締切)

【費用】日帰り/5,000円 1泊2日/12,000円 2泊3日/18,000円 3泊4日/24,000円(プログラム費、昼食代、保険 含)

※宿泊の場合は食事代のほかに夜間プログラムなど。詳しくはお問い合わせください。

【問い合わせ】NPO法人冒険の鍵クーン TEL0186-72-3168(9:00～20:00)

ホームページ <http://www.ku-njp/>

のしろまち灯り・夏

【日時】平成24年8月4日(土)17:00～21:00

【会場】能代市内の国道7号線沿い

(湾岸道路入口～豊祥岱交差点)

【内容】ロウソクなどのライトアップ。ウッディ動物園、木工教室、屋台ほか

【問い合わせ】のしろ白神ネットワーク(主催) TEL0185-52-4617

・募集情報・

花咲かせプロジェクトを成功させるためにあなたの力をかしてください!

「花咲かせプロジェクト」とは、子どものための優れた文化芸術活動を地域で企画し実現します。東北6県+茨城県で100ヶ所開催し、延べ15,000名の子どもとおとなの参加を目標としています。地域の子どもはご招待。おとなは参加・協力金として1口1,000円。企業・法人・団体からのご協力をいただければ幸いです。

☆能代山本地区の開催予定「こども寄席」

9月17日(能代市の旧料亭「金勇」)、「モンちゃんパワー」マジックファクトリー9月29日(ニツ井公民館)「ハリネズミと雪の花」11月23日(三種町公民館)、「おおたか静流コンサート」12月7日(能代山本広域交流センター)

【主催】子どもとアートプロジェクト「明日」と花咲かせプロジェクト能代山本地区実行委員会

【問い合わせ】事務局/能代おやこ劇場 TEL&FAX.0185-54-5877(火・金曜 10～12時)

未来を強くする子育てプロジェクト

地域において子育て環境づくりに取り組む、団体や個人を表彰します。【募集対象】より良い子育て環境づくりに資する活動を行い、成果を上げている個人・団体【表彰】文部科学大臣賞(未来大賞の1組)未来大賞(表彰状、副賞100万円)ほか【募集締切】平成24年9月14日(金)必着【問い合わせ】「未来を強くする子育てプロジェクト」事務局 TEL03-3265-2283http://www.sumitomolife.co.jp/mirai_child/

・助成金情報・

Panasonic NPO サポートファンド

【対象事業】NPOが組織基盤の強化を効果的に行うために、第三者による客観的な視点・多様な視点を取り入れた組織診断を実施し、自ら課題解決策を策定する取り組み

【助成対象】●環境分野:環境問題に取り組む、強い市民社会の創造を目指す NPO/NGO ●子ども分野:子どもたちの健やかな育ちを応援する新しい社会の創造を目指し、先駆的な活動と自己変革に挑戦する NPO/NGO

【助成金額】1団体への上限100万円

【応募期間】平成24年7月17日(火)～7月31日(火)必着

【問い合わせ】パナソニック株式会社 コーポレートコミュニケーション本部 社会文化グループ TEL03-6403-3140(担当/金村・東郷)

http://panasonic.co.jp/citizenship/pnsf/npo_summary.html

お知らせ

第2回東日本大震災避難者支援応援ファンド採択団体決定

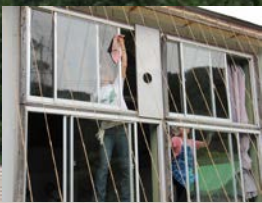
平成24年6月24日、秋田市の遊学舎にて「東日本大震災避難者支援応援ファンド2次募集」の審査会が行われました。

あきたスギッチファンドが「認定NPO法人」

NPO法人あきたスギッチファンドは、平成24年6月16日付けで認定NPO法人となりました。秋田県では、大館市の花岡平和記念会に次いで2番目となります。詳しくは、HPをご覧ください。 <http://www.akita-kenmin.jp/akita-npo-fund/>

【問い合わせ】NPO法人あきたスギッチファンド TEL018-839-8941





作品が展示される
八木沢公民館の
窓がピカピカに



腰まであった草が
刈られて棚田の全
容が見えてきました

上小阿仁村八木沢集落にボランティア集合！ 「大地の芸術祭」に向けてクリーンアップ



昼食は地元の婦人会さんによる「おにぎり」と、タケノコ、ミズ、フキ、ワラビなど地元の山菜がたくさん入った「豚汁」。みんなでたっぷりいただきました。

上小阿仁村八木沢集落を舞台にした「第5回大地の芸術祭・KAMIKOANI プロジェクト」(7月29日～9月17日)に向けたクリーンアップワークショップが、7月1日に同集落で行われました。村内外から約160人が参加し、野外舞台が設置される棚田周辺の草刈りや、作品が展示される八木沢公民館内の清掃活動に協力しました。

KAMIKOANI プロジェクト【問い合わせ】KAMIKOANI プロジェクト秋田実行委員会事務局 (秋田県観光文化スポーツ部文化振興課 TEL018-860-1530)



美術短大の学生も参加

ゼロダテの「明後日朝顔(あさってあさがお)／上小阿仁」プロジェクトリーダー、里村真理さんから、作業にあたって、アーティスト日比野克彦さんが提唱する明後日朝顔の趣旨説明があり、100本のロープに200個の種を参加者全員で植え付けました。



刈り取った稲を干す「はさ掛け」。KAMIKOANIプロジェクトのポスターにも採用されている地域のシンボリック存在です。



中学生のアイデアを現実に！ 大地の芸術祭オープニング「番楽サミット」

【日時】平成24年7月29日 9:30～16:00

【会場】上小阿仁村生涯学習センター・上小阿仁村八木沢集落

【内容】講演「番楽の現状と未来(仮題)」講師／斎藤寿胤氏(秋田民俗学会)、シンポジウム

☆平成23年度「秋田の魅力発信アイデアコンテスト」小中学生の部で最優秀賞に選ばれた上小阿仁中学校の田中愛子さんが提案した「番楽サミット」を、上小阿仁若者会議と上小阿仁中学校の生徒が協力して開催します。(元気あきた資金の助成を受けています)

<http://www.pref.akita.lg.jp/www/contents/1331699315479/index.html>

【問い合わせ】上小阿仁若者会議事務局

(担当: 榎本 TEL0186-77-3788)



＜編集後記＞

○看護福祉大「B愛 STAR ピアサークル」のみなさんの活動が広がっていくことを願っています。○八木沢集落の朝顔の成長や集落とアートの調和が楽しみです。



『んだすな』には、人と人が願いを共感し、協力し合えたらという願いが込められています。

平成24年7月10日発行

発行: 秋田県企画振興部地域活力創造課

〒010-8570 秋田市山王四丁目1-1

TEL.018-860-1245 FAX.018-860-3873

編集: 北部市民活動サポートセンター

〒017-0842 秋田県大館市宇馬喰町48-1

TEL.0186-49-8553 FAX.0186-49-8589

<http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/>

E-mail anec1@io.ocn.ne.jp

○北部市民活動サポートセンターは秋田県から委託を受けて特定非営利活動法人秋田県北NPO支援センターが運営しています。